

伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ報告書（概要版）

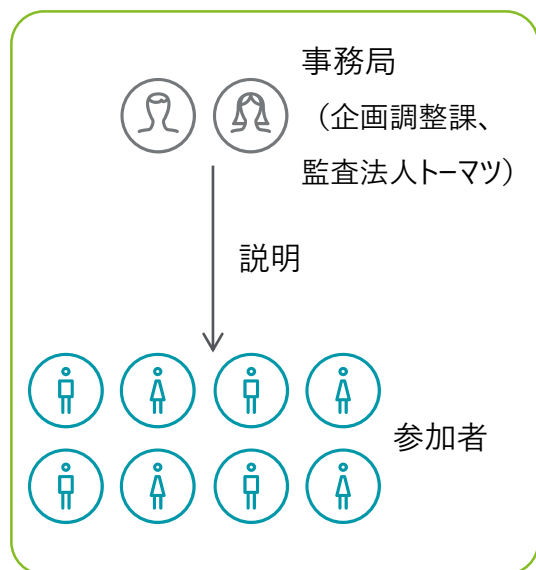
令和6年6月

伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

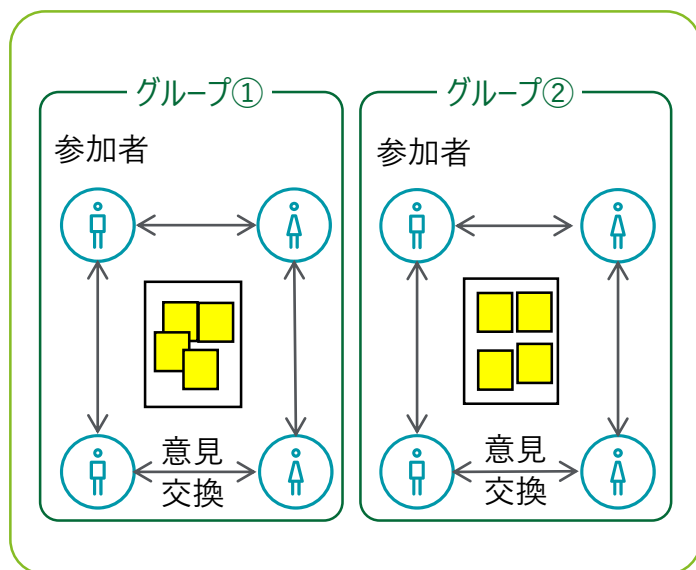
開催の目的・実施方法

- 伊勢崎市民等が抱く、市の魅力や、将来の市に対する思いや願いを、他の参加者との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、市民が主体的に検討した上で、総合計画の前期アクションプランの策定に繋げることを目的としてワークショップを実施しました。
- ワークショップはカフェでリラックスしているような雰囲気で議論していただくために、ワールドカフェ方式で実施しました。
- 参加者には、5グループにそれぞれ分かれて話し合いをしていただきました。合計3回の話し合いにおいては、付せん意見を書き込み、それを他の参加者に共有しながら模造紙に貼り付けていただきました。
- 最後に各グループの代表から全員に向けて意見を発表していただきました。

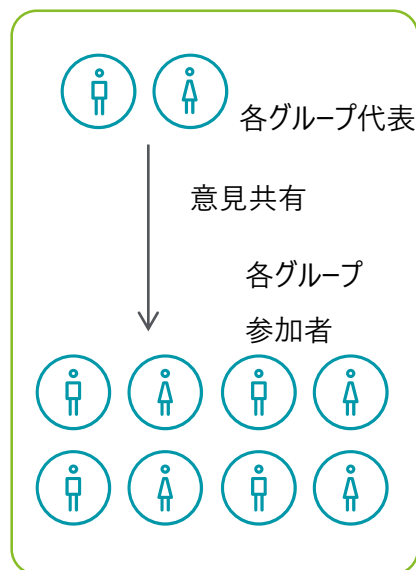
挨拶、趣旨・現況説明



各ラウンドの話し合い



発表



2. まちづくり市民ワークショップについて

各回の日程・テーマ

- ワークショップは合計3回の構成とし、長期ビジョン（基本構想）で定めた7つの政策分野を3回に分けて、各ラウンドテーマについてそれぞれ話し合いをしていただきました。
- 各回の日程、開催時間等の詳細は下表のとおりです。
- 次ページ以降は、ラウンドテーマごとに3回のワークショップをまとめて整理しています。

	第1回	第2回	第3回
日程	令和6年4月14日（日）	令和6年4月21日（日）	令和6年5月12日（日）
開催時間	各回とも14:00～16:30		
開催場所	各回とも伊勢崎市役所		
対象者	各回とも18歳以上の市内在住の方		
参加者数	23名	19名	20名
メインテーマ	- 子育て・教育分野 - 健康・福祉分野	- まちづくり分野 - 安心安全分野 - 環境分野	- 産業・観光・文化分野 - 共生・共創・行財政分野
ラウンド テーマ	1.（メインテーマの分野における）伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題 2.（メインテーマの分野における）理想の伊勢崎市のためにできること		
※各回共通	3.（メインテーマの分野における）理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」		

2. まちづくり市民ワークショップについて

【各ワークショップにおける市民意見】

第1ラウンド（1）：伊勢崎市の強み・魅力

- 第1ラウンドは2部構成に分かれており、前半では伊勢崎市の現状を把握することを目的として、伊勢崎市の強み・魅力について意見出しをしていただきました。
- 強み・魅力については、産業・観光・文化分野に関する意見が多く挙げられていました。

■ 子育て・教育

<主な意見>

- 学校が充実している
- 図書館が充実していて、利用者も多い
- 身体を動かせる施設等が多い
- 保育園に入れやすい

■ まちづくり

<主な意見>

- 公園や川などの遊び場が多く、管理されている
- 街路樹が多く、緑が多い
- 道路が整備されている
- 新しい住宅がたくさん建っている
- 市外へのアクセスが良い

■ 共生・共創・行財政

<主な意見>

- 外国人が多く、外国の文化に触れやすい
- 公園などの施設が多言語対応している
- 無料で利用できる施設が多い
- ICT化やDXが進んでいる
- まちづくりに市民が参画できる

■ 健康・福祉

<主な意見>

- 医療体制が充実している
- 高齢者が元気である
- ふれあいの居場所が多い
- 障害者センター、福祉プラザがある
- 高齢者・障害者へのサポートが手厚い

■ 安心安全

<主な意見>

- 大規模災害が起こりにくい地形・気候である
- 避難場所が多い
- 防災教室や防災訓練が実施されている
- 街灯が多い
- 警察の巡回が多い

■ 産業・観光・文化

<主な意見>

- 企業や工場が多い
- 商業施設が多い
- 駅前公園等でのイベントが盛んである
- 畑が多く、野菜が安い
- 文化財や伝統文化が豊富にある

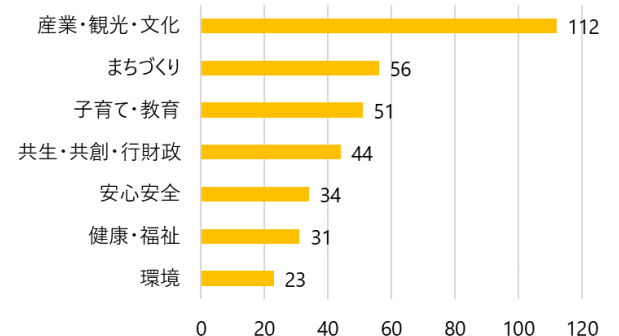
■ 環境

<主な意見>

- 緑のある公園や川遊びができる
- 空気や水がきれい
- 放置されたごみを片付けてくれる人がいる
- 伊勢崎市がSDGsに積極的である

<意見数>

(n=351)



2. まちづくり市民ワークショップについて

【各ワークショップにおける市民意見】

第1ラウンド（2）：伊勢崎市の弱み・課題

- 第1ラウンドの後半では、伊勢崎市の弱み・課題について意見出しをしていただきました。
- 弱み・課題については、まちづくり分野、共生・共創・行財政分野に関する意見が多く挙げられていました。

■ 子育て・教育

<主な意見>

- 食育が不足している
- 学童保育が学校内にある所が少ない
- フリースペース等の学習できる環境が少ない
- 不登校児への対策が不十分である
- 高校生が市外に流出している

■ まちづくり

<主な意見>

- 車がないと移動が不便であり、生活づらい
- 電車やバスの本数が少ない
- 自転車道が整備されていない
- 空き家が多い
- 細い道や歩道のない道が多く、事故が起きやすい

■ 共生・共創・行財政

<主な意見>

- 地域コミュニティが不足している
- 広報からの情報発信等が不足している
- 伊勢崎市の強みをPRできていない
- 外国人の増加への対応が追いついていない
- デジタル化についていけない高齢者がいる

■ 健康・福祉

<主な意見>

- 地域の高齢化が進んでいる
- 高齢者・障害者へもう少し補助してほしい
- 高齢者へのデジタル教育が進んでいない
- 福祉等の支援を受けることにハードルがある
- 市民病院の救急受入体制が不十分である

■ 安心安全

<主な意見>

- 災害に対する備えが弱い
- 避難時の要支援者の移動手段が少ない
- 交通事故が多く、特に自転車事故が多い
- 交通ルール・マナーを守らない人が多い
- 見通しの悪い交差点が多い

■ 産業・観光・文化

<主な意見>

- 魅力ある企業が少ない
- 平日のまちなかがガラガラで寂しい
- 農業の後継者が少なく、耕作放棄地が多い
- 文化遺産や伝統文化を有効活用できていない

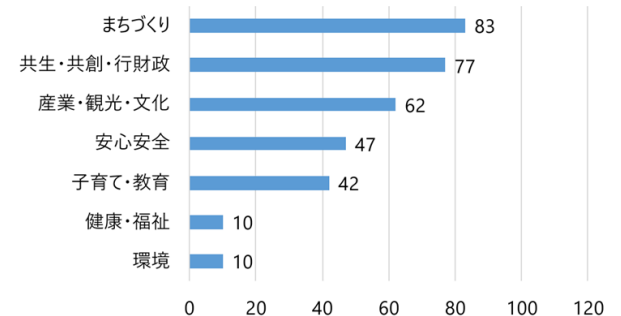
■ 環境

<主な意見>

- ごみ出しのルールを守らない人が多い
- 資源回収後の処理が不透明である
- 1人当たりのごみの量が群馬県内で比較的多い

<意見数>

(n=331)



2. まちづくり市民ワークショップについて

【各ワークショップにおける市民意見】

第2、3ラウンド：理想の伊勢崎市のためにできること、それぞれの役割

- 第2、3ラウンドでは理想の伊勢崎市のためにできることについて意見出しをしていただきました。
- まず、第2ラウンドで理想の伊勢崎市のためにできることに関して意見出しをしていただき、次に第3ラウンドでその理想の伊勢崎市のためにできることは、どの主体が中心となって実施していくのか、その役割について整理していただきました。

子育て・教育

■ 市民

<主な意見>

- 食育活動を行う
- 安心して失敗できる雰囲気醸成する
- 親子間で伊勢崎について話し合う

■ 企業

<主な意見>

- 企業内保育を推進する
- テレワークや休みの取りやすい環境づくりを推進する
- 企業の仕事を子どもたちに教える・体験してもらう

■ 団体

<主な意見>

- 子ども食堂や制服のリユースなどの活動を継続する
- 学校以外の教育の場や機会を作る
- 子どもの体験の機会を増やす

■ 行政

<主な意見>

- 子育て支援を充実し、出生率を向上させる
- 不登校児に対するフォローアップや支援を行う
- 魅力的な図書館を増やす

■ 複数の主体が協働

<主な意見>

- 子どもと大人が互いに触れ合える機会を作る（市民・企業・団体・行政）
- スポーツや伝統文化を継続して学ぶ（市民・団体）

健康・福祉

■ 市民

<主な意見>

- 障害者への理解を深める
- 1人暮らしの高齢者を身近な立場として支援する
- ボランティア活動に積極的に参加する

■ 企業

<主な意見>

- 高齢者がデジタル環境に親しみやすい教室を開催する
- 専門性の高い医療や医療連携を推進する
- 企業のバリアフリーを推進する

■ 団体

<主な意見>

- 近所の人が高齢者へ向けてスマホの使い方などを指導する
- バリアフリーマップを作成する

■ 行政

<主な意見>

- 介護施設と保育園が連携し、世代間交流を推進する
- 夜間対応できる病院を増やす
- 公共施設等のバリアフリーを推進する

■ 複数の主体が協働

<主な意見>

- 健康に繋がる大人・子どもの交流を増やす（市民・企業・団体・行政）
- 障害者もしっかり働ける環境を作る（企業・行政）

2. まちづくり市民ワークショップについて

【各ワークショップにおける市民意見】

第2、3ラウンド：理想の伊勢崎市のためにできること、それぞれの役割

産業・観光・文化

■ 市民

<主な意見>

- 伊勢崎市の文化に興味を持つ
- 地元愛を持つ
- SNSで伊勢崎市をPRする
- 史跡や伝統文化を観光客に案内する

■ 企業

<主な意見>

- 働き方など、雇用を充実する
- 働き方改革を推進する
- 地元企業の説明会を増やす
- 伊勢崎市の産業をPRする
- 伊勢崎駅周辺を活性化する

■ 団体

<主な意見>

- eスポーツで交流する
- お店やスポットを紹介する
- 絹織物と異文化の織物をコラボした商品を作る
- 映画のロケ地ツアーを開催する

■ 行政

<主な意見>

- 公共交通機関を見直す
- 工場見学ツアーを実施する
- 伊勢崎市の観光資源を考えた景観づくりを進める
- オートレース場を有効活用する

■ 複数の主体が協働

<主な意見>

- 若者向けのイベントを開催、参加する（市民・行政）
- 市の歴史や文化を学ぶ場を作る（市民・企業・団体・行政）

まちづくり

■ 市民

<主な意見>

- 公園を積極的に利用する
- 空き家を放置しない
- バスに頼らず、積極的に自転車で移動する
- まちづくりのイベントに参加する

■ 企業

<主な意見>

- 駅周辺に誰もが集える店舗を出店する
- ライドシェアを充実させる
- 空き家を活用したカフェなどを出店する

■ 団体

<主な意見>

- 空き家をコミュニティの場として活用する
- 気軽に集まれる場所を作る
- イベントの周知をもっとする

■ 行政

<主な意見>

- 鉄道やバスを充実する
- バス以外の交通手段を確立し、車がなくても移動しやすくする
- 空き家の利用・保護・管理を行う

■ 複数の主体が協働

<主な意見>

- 無料で誰もが使えるフリースペースを設置し、利用する（市民・行政）
- 空き家を有効活用する（企業・団体・行政）

2. まちづくり市民ワークショップについて

【各ワークショップにおける市民意見】

第2、3ラウンド：理想の伊勢崎市のためにできること、それぞれの役割

安心安全	
■ 市民 <主な意見> ➢ 交通安全意識を向上させ、交通ルール・マナーを守る ➢ 各地区の防災訓練に参加する ➢ 防災マップをよく見ておく	■ 企業 <主な意見> ➢ 災害時の交通整備に協力する ➢ 災害時の協力を積極的に行う
■ 団体 <主な意見> ➢ 交通安全教室を実施する ➢ 防災訓練の実施回数を増やす	■ 行政 <主な意見> ➢ 交通安全に向けて信号機やオービス等の設置を行う ➢ 街灯を増やす ➢ 学校前の道路を拡幅する ➢ 地区ごとに防災訓練を行う
■ 複数の主体が協働 <主な意見> ➢ 防災意識を高める（市民・団体・行政） ➢ 伊勢崎市の災害シミュレーション（映画）を作成・観る（市民・団体・行政）	

環境	
■ 市民 <主な意見> ➢ 食品ロスを減らす ➢ ごみの分別をする ➢ リサイクルを心掛ける ➢ 車移動を減らす、エコドライブを心掛ける	■ 企業 <主な意見> ➢ 再生可能エネルギーを創出する ➢ リサイクル可能な物質づくりを推進する ➢ 企業内での緑化運動を推進する
■ 団体 <主な意見> ➢ 畑の野菜を無駄にしないための取組を行う ➢ 河川敷の清掃を行う ➢ 転入者にごみ処理のルール等を説明する	■ 行政 <主な意見> ➢ 多言語でごみ処理のルールを案内する ➢ 公園の管理を徹底する ➢ SDGsの視点を持った施策展開を行う
■ 複数の主体が協働 <主な意見> （環境分野においては、複数の主体が協働で取り組むべき意見はありませんでした）	

2. まちづくり市民ワークショップについて

【各ワークショップにおける市民意見】

第2、3ラウンド：理想の伊勢崎市のためにできること、それぞれの役割

共生・共創・行財政

■ 市民

<主な意見>

- 伊勢崎市のことをよく知る・学ぶ
- 伊勢崎市の良さを発信する
- 近隣の人と助け合う
- 外国人とも交流する
- 自治会等に参加する

■ 企業

<主な意見>

- 伊勢崎市のPRをもっと行う
- イベントの際にもっと告知する
- 団体への寄付を行う
- 外国人向けの企業説明会を行う

■ 団体

<主な意見>

- 異文化交流の機会を増やす
- コミュニケーションを活発にする
- サラリーマンでも活動しやすい内容の活動を行う
- 現場の声を行政に伝える

■ 行政

<主な意見>

- 外国人にとって生活しやすいまちづくりを行う
- 世代間交流の場所を作る
- 情報伝達の手段を増やす
- 市民の声に傾聴する

■ 複数の主体が協働

<主な意見>

- 定期的にワークショップを開催する（団体・行政）
- 外国文化について学ぶ機会を作る（市民・行政）

＜意見数＞

(n=560)

